

御参加ください。(場所は当日ご案内致します)

以上

(平成28年度第1回理事会・定時総会第1号議案資料)

平成27年度(2015)事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

I. 一般社団法人に移行して第2年度に当る平成27年度は、日本・ボリビア両国間の国際交流を通じて、両国間の相互理解と友好親善協力の関係をより一層発展・進化させることを目指し、公益目的財産(期首2,006,638円＝一般社団法人移行初年度継承資産・2,480,870円－前年度消化474,232円)の積極的活用を図りつつ、下記の活動を展開・推進した。

II. 具体的事業・活動

1. 自主企画イベント

毎年恒例となっているX'Masイベントを12月2日に開催。副会長・大貫良夫氏のティワナク文化についての講演、引き続いて会員・ルイスカルロス・セヴェリッチ氏のグループLos Tres Amigosのフォルクローレ演奏及び参加者交流会を非会員にもオープンにして実施した。駐日ボリビア大使、ラ米関係団体、会員等約50名が参加し盛会であった。

2. 会報Cantutaの発行

24号(8月)、25号(3月)と二回発行した。内容の充実と多様性のため幅広く執筆者を募り、また読者の読みやすさ向上のため紙質の改善を図った。

3. ホームページ(HP)

新しいお知らせ等頻繁に追記或いは更新すべきページの内容の追加・更新・修正を、その都度、外部専門業者に依頼することなく、協会独自でできるようにするため、執行部の会員数名を対象に内部研修会を行い、運用面の改善を図った。

HPサイトの内容見直しを継続中である。また、2013年10月刊行のLos japoneses en Boliviaの宣伝PRを引き続き掲載し、現在110冊を販売済みである。

4. 駐日ボリビア大使館との連携による広報及び協力活動

①駐日ボリビア大使館からの要請を受けて、8月6日の独立記念日にJapan Timesに祝賀広告を出稿するとともに、会長名による当協会活動についての記事を寄稿した。

②2016年3月23日に東京・品川の港南公園で行われたボリビア「海の日」のイベントに参加した。

③エリック・サアベドラ駐日ボリビア大使が12月末に離任され、送別会を催した。

なお、ほぼ同じ時期に、駐ボリビア日本大使が、椿秀洋氏から古賀京子氏へ交替され、協会として新旧両大使に挨拶の機会があった。(その後椿前大使は当協会へ入会された)

5. 各種団体・グループの活動への協力、参加

① 9月、日本のフォルクローレ音楽グループ“TierraCuatro”のボリビアの“Festijazz コンサートツアー”への参加（ラパス、コチャバンバ、タリハ、エル・アルト、サンタクルス）及びサンファン日本人移住地での自主公演への支援。

事前の準備から現地での各種調整、自主公演への資金援助等を含め全面的に支援して実現させた（杉浦専務理事が全日程に経費自己負担で同行）。

② 10月31日～11月1日には三重県津市と東京・市ヶ谷で開催された在日ボリビア人団体の主催の EXPO 2015 に後援するとともに参加した。

③ ラテンアメリカ協会との連絡・協議：ラテンアメリカ協会主催の講演会を中心とする各種イベント並びに、ほぼ毎月開催のラ米関係団体参加の連絡会に参加した。

④ 10月、ラテンアメリカ駐日大使夫人会主催チャリティーバザー（駐日ボリビア大使館も出店）に参加。

⑤ 日赤系 Maiken による Chagas 病検診（5月、12月）への協力。

⑥ その他、在日ボリビア人舞踊家ゼノビア・ママニ氏主催イベント（12月）、日本人フォルクローレグループ Cantati コンサート（12月）等への参加

6. 在ボリビア日系人社会との交流促進

① 8月15日～20日の間、サンファン移住地の入植 60 周年記念祭典の一連の行事に代表が参加した（杉浦専務理事が私費参加）。

② 5月、ボリビア日系協会連合会の佐藤信壽事務局長が来日した際、理事会に招き現地事情について話を聞くとともに、学校建設プロジェクトに関連して日本国内の学校視察をする際に杉浦専務理事が同行した。

③ 7月から9月にかけてボリビア訪問の際、ラパス、サンタクルス、コチャバンバ、オキナワ、サンファン各地の日系団体幹部を訪問し意見交換した（杉浦専務理事）。

④ 10月、海外日系人協会主催の海外日系人大会に参加し来日した移住者日系人と交歓。

7. 外部からの照会、要請への対応・協力

網走市の豆問屋長谷川商店のボリビア市場調査（5月）、網走南ヶ丘高校への教材提供

（5月）、島根県大田市とポトシ市との銀鉱山同志の交流のための調査（7月と2月）、

ボリビア国際中学高校創設プロジェクト関係事前調査（5月）国本伊代氏『ラテンアメリ

カン社会と女性』（日本語版）（4月、3月）、兒島峰氏『アンデスの都市祭礼』（スペ

イン語版）（8月）、パラグアイ作家マルコス氏『ギュンターの冬』（日本語版）（4月～

3月）の出版、在日ボリビア人ビジネスマン・ガリソン氏の日ボ間輸出入貿易（10月

～3月）、横浜中小製造MKR主催イベント横浜NOW [世界コマ大戦] へのボリビア

人若者2名の参加、ボリビア人鉱山技術者ブスティージャス氏のボリビア鉄鉱山調査、

神戸在住土肥次郎氏主催ボリビア技術協力会が支援する建機 MKR・Kobelco 社のボリ

ビア進出（4月～3月）、日本のTV局ボリビア取材（数局）、日本人・在日ボリビア人

個人や旅行代理店へのボリビア旅行関係観光・査証情報提供（4月～3月）、沖縄ボリ

ビア協会主催チャリティーゴルフ大会・那覇（2月）、(株)日本エイト技術開発によるボリ

ビア日系人社会向温泉事業F/S調査（3月）など。

一般社団法人 日本ポリビア協会		総会資料	
貸借対照表		平成27年4月1日－28年3月31日	
資産の部			
現金			45,224
預金			2,718,055
資産合計			2,763,279
負債の部			
未払金			0
負債合計			0
正味財産の部			
正味財産			2,763,279
(内当期正味財産増減)			3,673
負債及び正味財産合計			2,763,279
社団法人 日本ポリビア協会 財産目録 (平成28年3月31日)			
資産の部			
現金			45,224
預金			2,718,055
三菱東京UFJ銀行	1,871,622		
ゆうちょ銀行	846,433		
資産合計			2,763,279
負債の部			
未払金			0
負債合計			0
正味財産			2,763,279
社団法人 日本ポリビア協会 財産増減計算書			
区分	期首残高	期末残高	増減
現金	49,986	45,224	△ 4,762
預金 三菱東京UFJ銀行	1,525,134	1,871,622	346,488
ゆうちょ銀行	1,184,486	846,433	△ 338,053
預金小計	2,709,620	2,718,055	8,435
合計	2,759,606	2,763,279	3,673

一般社団法人 日本ポリビア協会		平成27年度収支計算書		
収入の部				
科 目	27年度予算額	27年度決算額	増減額	決算額についての備考
会費収入	800,000	767,000	-33,000	
個人会員	200,000	227,000	27,000	64個人会員
維持会員	600,000	540,000	-60,000	7 維持会員
交流参加費	200,000	208,500	8,500	
雑収入	500	582	82	預金・貯金利息
収入合計	1,000,500	976,082	-24,418	
前期繰越金	2,759,606	2,759,606	0	
収入の部合計	3,760,106	3,735,688	-24,418	
支出の部				
科 目	27年度予算額	27年度決算額	増減額	決算額についての備考
1. 管理費				
事務経費	150,000	28,275	-121,725	
通信運搬費	50,000	9,306	-40,694	
交通費	50,000	0	-50,000	
消耗品費	40,000	689	-39,311	
雑費	10,000	18,280	8,280	
管理費合計	150,000	28,275	-121,725	
2. 事業費				
旅費交通費	80,000	35,750	-44,250	
通信運搬費	50,000	6,597	-43,403	
消耗品費	70,000	24,377	-45,623	
ホームページ維持管理費	100,000	48,708	-51,292	
支払負担金	70,000	262,470	192,470	
交流会議費	600,000	410,525	-189,475	
カントウタ等発行費	100,000	129,497	29,497	
雑費	10,000	26,210	16,210	
事業費合計	1,080,000	944,134	-135,866	
3. 予備費				
予備費	0	0	0	
4. 支援事業費				
援助費	0	0	0	
		0		
支出合計	1,230,000	972,409	-257,591	
次期繰越金	2,530,106	2,763,279	233,173	
支出の部合計	3,760,106	3,735,688	-24,418	

平成27年度監査報告

一般社団法人日本ポリビア協会

会長 白川 光徳殿

私たち監事は、当協会の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における理事の職務執行について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律99条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

上記の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行ない、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等に付いて監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実 は認められません。

(3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます

平成28年4月27日

監事 永井・和夫



(平成 28 年度第 1 回理事会・定時総会、第 2 号議案資料)

平成 28 年度事業計画

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I 基本方針 会員増加活動の継続・強化・促進

昨年度に引続き、日本とボリビア両国間の交流を通じて、相互理解と友好親善協力の関係をより一層発展・進化させることを目指し、会員各位や関係先からの協力も得て、本年も昨年に引続き、役員全員で努力を積み重ねて行く。

当 2015 年度末の会員総数は、79 名（個人会員 71 名、法人維持会員 8 名）と前年度末比較で 10 名減となった。（個人会員 8 名減、法人維持会員 2 名減）、これを受けて、本年度は 90 名への回復を目標とする。

会員加入の重点対象として、従来からの日本人の女性・若者・シニア層に移住帰国者を加え、本年度はさらに、在日ボリビア大使館とも連携して、在日ボリビア人・ラテンアメリカ人のネットワークの現状把握を積極的に進め会員加入を働き掛けることとする。この方針に沿って、自主イベントも一層充実させ、会報やホームページも整備充実するとともに、ラテンアメリカ関係組織・団体との交流を深めて日常的繋がりを生み出すキッカケ創りを活発化し、積極的に参加を勧誘して、会員加入の増加へ繋げて行く。

II 具体的事業活動

① 自主企画イベントの充実

参加して「楽しい、面白い」と感じて貰えるようなエンターテインメント系としての従来のボリビア関係「音楽・ダンス・料理・食材」を主とした X'Mas イベントに加えて、「為になる」教養系のイベントとして、本年 8 月 6 日のボリビア独立記念日を目途に、ボリビアを含むアンデス関係の、「考古学、遺跡、現代史、小説・詩文・映画・絵画」などの文化ジャンルでのイベントを新たに 1～2 件追加企画することとし、予算として 60 万円を計上する。

また、自主イベントと連動しての、ボリビア訪問旅行、文化・スポーツ活動などを企画し、維持会員の旅行代理店 2 社と協賛か共催の形でタイアップして、参加者の集客に協力することを検討する。

② 会報 Cantuta の充実

発行回数をこれまでの年平均 2 回から、3～4 回へ増やすとともに、スペイン語による寄稿記事を新たに掲載することとし、併せて表紙を含めたデザインについて、斬新性を加えて会員などからの好感度アップを目指して予算 10 万円を計上する。なお、発行回数の増加については役員や事務局の増員が必要であり、その実現性の検討結果をみつつ実施することとする。

③ ホームページ（HP）などの充実

現在の更新頻度を月 1 回程度に引き上げることを目指して、業者委託部分と協会内部での役員と事務局による内部作業部分を明確に区分することとする。

また、会員・非会員を合わせて外部からのボリビアに関する情報収集のニーズに幅広く応え、同時に協会側からも情報発信をタイムリーに広く効果的に行えるようにするために、協会の情報サイトとして HP に加えて Facebook や Line の導入を検討する

こととする。

上記の実現を目指して予算として10万円を計上する。

- ④ 駐日ボリビア大使館との連携によるボリビア情報提供体制の充実、並びに在日ボリビア人ネットワーク創りへの協力
駐日ボリビア大使館と連携して、ボリビアに興味・関心を持つ日本人一般層へのボリビア文化・産品・観光情報の提供、並びに日本の地方・中小企業向のボリビア関係ビジネス情報の提供を進めると共に、在日のボリビア人や、ボリビア移住帰国者の集住地域を、共に訪問してネットワークの整備に協力する。
併せて、Chagas 病の感染防止と治療のために、日赤の検査技師・三浦左千夫氏が行う在日ボリビア人集住地への訪問集団検診に協力する。
交通費を増額して8万円を計上する。
- ⑤ ボリビアを含むラテンアメリカ関係組織・団体との連携充実
下記の外部組織・団体の主催するセミナー・イベントへ積極的に参加して、ボリビア関係情報の積極的提供を行うと共に、先方からのボリビアを含むラテンアメリカ関係情報を収集し内外のボリビア関係者に提供する。
ラテンアメリカ（LAA）協会、LA関係駐日大使館・国別組織・団体、海外日系人協会、JICA、JETRO、JATA、FOODEX、イスパニカ、ラテンアメリカ文化交流協会（AMIGO）、イスパニカ、セルバンテス協会、LA関係各種学会、日本キヌア研究会、日本ボリビア医療友好協会、DIFAR、日本ボリビア人協会、沖縄ボリヴィア協会、サンファン帰国者の集い ボリビアフェスティバル2016 実行委員会など。
- ⑥ 在日ボリビア日系人社会との在日ボリビア人社会との交流促進支援
ボリビア主要都市・移住地の定期訪問、在日ボリビア人社会と連携したボリビアからの政府・民間などの要人来日、日系人・ボリビア人の訪日研修、への側面支援協力を継続して実施する。
- ⑦ 日本マスコミのボリビア関係取材への協力
ボリビア関係情報の提供を通じて、ボリビアのPRへの支援協力を働きかける。
- ⑧ 個別案件への協力支援
- * 建機の保守・操縦訓練学校・講座創設への情報提供など支援協力。
 - * 在日ボリビア人による日ボ間輸出入ビジネスへの情報提供など協力支援
 - * 日本キヌア研究会との連携活動
 - * ボリビア新国国際中等高校設立への寄付金拠出
当面はボリビア日系協会連合会と各地日本人会による計画策定の状況を見守りつつ対応を検討する。
 - * 日本人ボリビア移住100周年誌のスペイン語版『Los japoneses en Bolivia』（ボリビアに生きる）の日本国内頒布の継続推進
刊行後2年半で現在累計110冊となり、目標の200冊を目指して、ラテンアメリカ関係学者・研究者、在日移住帰国者の配偶者・子弟、ボリビア人留学生・研修生などへのPR頒布を継続する。
 - * コチャバンバ・身障者孤児救済施設・聖マルティンの家の日本での募金活動へのPR支援協力

一般社団法人 日本ポリビア協会			
平成28年度収支計算書 (損益計算ベース) 予算 (監)			
期間 :平成 28年 4月 1日～平成 29年 3月 31日			
(単位 :円)			
科 目	平成27年度予 算額	平成27年度 実績	平成28年度予 算額
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
資産運用益	500	582	500
預金受取利息	500	582	500
受取年会費	800,000	767,000	800,000
個人会費	200,000	227,000	200,000
法人会費	600,000	540,000	600,000
雑収入	0	0	0
交流参加費	200,000	208,500	250,000
経常収益計	1,000,500	976,082	1,050,500
(2)経常費用			
事業費	1,080,000	944,134	1,080,000
旅費交通費	80,000	35,750	80,000
通信運搬費	50,000	6,597	50,000
消耗品費	70,000	24,377	70,000
ホームレス維持管理費	100,000	48,708	100,000
支払負担金	70,000	262,470	70,000
交流会議費	600,000	410,525	600,000
カントウタ等発行費	100,000	129,497	100,000
雑費	10,000	26,210	10,000
管理費	150,000	28,275	150,000
通信運搬費	50,000	9,306	50,000
交通費	50,000	0	50,000
消耗品費	40,000	689	40,000
雑費	10,000	18,280	10,000
経常費用	1,230,000	972,409	1,230,000
当期経常増減額	-229,500	3,673	-179,500
2.経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	-229,500	3,673	-179,500
一般正味財産期首残高	2,759,606	2,759,606	2,819,388
一般正味財産期末残高	2,530,106	2,763,279	2,639,888
II 正味財産期末残高		2,763,279	
	公益支出	公益収入	残高
平成26年3月31日未繰越金の"公的目的活動"による消費期間予測			2,480,870
平成26年公益活動金額と繰越金(1)	656,232	182,000	2,006,638
平成27年公益活動金額と繰越金(2)	944,134	208,500	1,271,004
平成28年公益活動金額 :予測(3)	1,080,000	250,000	441,004
平成29年公益活動金額 :予測(4)	850,000	250,000	-158,996

(平成28年第1回理事会・定時総会・第2回理事会 第3号議案資料)									
平成28年度(2016)定期総会 役員改選 (案)									
2016.5.19									
現任	(出身)			後任候補 (出身)	(案)	職務 (案)			執行グループ
会長	白川光徳	外務省	重任			当協会代表			*
副会長	大貫良夫	東京大学	重任			当協会代表 会長補佐			
副会長	杉田房子	旅行作家	退任	今村忠雄 海外協会		副会長新任	当協会代表 会長補佐		
理事	小川 秀樹	大阪名誉領事	逝去退任	森下鉄夫 日本ホリス7医療友好協会		理事新任	理事 関係団体担当		
理事	国本伊代	中央大学	重任				理事 関係団体担当		
理事	細野 豊	JICA	重任				理事 関係団体担当		
理事	今村忠雄	海外協会	重任・副会長へ)	椿 秀洋 外務省		理事新任	理事 関係団体担当		
理事	嘉手苺義男	オリオンビール	重任				理事 関係団体担当		
理事	長嶺為泰	WUB	重任				常務理事 会計財務担当		*
理事	細萱恵子	日本経済大学	重任				常務理事 会報・HP・広報担当		*
理事	遅野井茂雄	筑波大学	重任				理事 関係団体担当		
理事	杉浦 篤	トヨタ自動車	重任				専務理事 総務担当		*
理事	八代倫明	住友商事	退任	稲壁 誠 住友商事		理事新任	理事 関係団体担当		
監事	永井和夫	JICA	重任						*
監事	金木克公	JICA	逝去退任	千坂平涌 JICA		監事新任			
事務局	吉田 憲司	NTTコム	重任						*
顧問	林屋永吉	外務省	重任						
相談役	渡邊英樹	JICA	重任						

(平成 28 年第 1 回理事会・定時総会第 4 号議案資料)

(会員増減明細)

平成 27 年 3 月末 個人会員 79 名 維持会員 10 名 合計 89 名

平成 27 年 4 月—平成 28 年 3 月 個人・維持会員合計 10 名減

個人会員 入会増 4 名 河合 勝、上崎雅也、Miguel Garson、椿秀洋
退会減 13 名 高橋臣夫、知花弘和、中部全人、橋本郁夫、
ボーモント愛子、松本新治、三浦光、和気克幸、
大野透太郎、榊玲子 金木克公
渡邊英一郎 (維持会員・西協商事のみへ)
小川秀樹 (維持会員・阪神学園のみへ)

移行増 1 名 加藤謙三 (G&G)

計 8 名減

維持会員 退会減 1 名 ユニエックス (小野正明)

移行減 1 名 G&G (加藤謙三)

計 2 名減

平成 28 年 3 月末 個人会員 71 名 維持会員 8 名 合計 79 名

以上